

1、はじめに

人口減少、急速な高齢化の中、福祉ニーズはますます多様化・複雑化・高度化し、制度やサービスのあり方も、よりきめ細やかな対応が求められるなどの変化が顕著になってきています。

法人内部においても、新規の採用人材が減少し、高齢、中途、パート人材が増えてきています。一方、利用児者についても発達障がいや重度障がい、行動障がいなどの方の利用が増えてきていますし、本人の障がいの重度化や高齢化、親の高齢化にともなう介護と生活支援など、その対応の必要が増えてきています。

こういった状況の中、第3次中期経営計画のビジョン実現に向けて、法人全職員が熱意を持って取り組んでいますが、より目標の実現に近づくために、昨年、「法人事業のコンセプト」を作成しました。

今年度は、「法人コンセプトの実践の年」として、「5年後のビジョン」実現に向けて、以下の通り、取り組んでいきます。

**宰府福社会
コンセプト 共通指針****障がい福祉の充実と共生社会の推進****いつでも気軽に利用できる福祉サービス**

- ・ 子供から高齢者まで利用できるサービス
- ・ 障がいの重い人も家族も利用できるサービス
- ・ 生活の基本を大切にする適切なサービス
- ・ 気軽に立ち寄れる場所

2、基本方針

1) 地域貢献事業の推進

- ①地域貢献事業の実施
- ②災害対策の充実
- ③広報戦略の推進

2) 財務体質の強化

- ①収支管理
- ②適切なコスト管理

3) サービスの質の向上

- ①サービスの自己評価の実施
- ②サービスの標準化
- ③利用者の人権擁護体制の充実
- ④地域生活支援等の充実

4) 内部管理体制の充実

- ①法人経営と事業経営の充実
- ②業務の標準化
- ③法人組織の管理体制の充実

5) 総合的な人材マネジメントの充実

- ①ルールブックの作成と活用
- ②人事評価制度の効果的運用
- ③法人職員研修の充実
- ④人材採用と人材育成制度の再構築と実施